



## 統計マンは幸福である

秋たけなわの10月15日開都 500年祭でにぎわう大東京の日比谷公会堂において、統計マン待望の第7回全国統計大会が催され、私もこれに参加した。

目がさめるような、はなやかな会場の門をくぐり、テキパキした都庁統計課員の案内によつて会場に入る。「こんなに後の方で聞えるだろうか」とつい田舎者の本性をあらわせば「ここは東京ですぞ」と隣席の同僚に笑われながら中央末席に腰を下し、期待と好奇心を躍らせて場内を見渡すと、正面の舞台装飾も鮮かに、マーク入りの全国統計大会の文字が一しお目についた。

大会はまず美濃郡統計基準部長の開会の辞によつて幕は切られた。ついで地先東京都副知事の挨拶、大内全統連会長の挨拶と、それぞれ胸をうつつ激励の言葉があり、さていよいよ統計マン最高の栄誉である大内賞授与の表彰式に移つた。会場万雷の拍手に迎えられて、東京都斎藤金一郎さん外8名に輝かしい大内賞が授与された。思うにこの人々は統計調査にたずさわること何10年、終始一貫職務に精励され、しかも理論においても実際においても、真に我が国統計の進歩発達に貢献されたいわゆる統計の神と仰がれる方々である。

およそ人間としてこの世に生をうけたからには、担当する職務を通じて世のため人のために尽くすことこそ本望であり、最も尊いことというべきであろう。受賞者4名の方々に心から敬服すると共に、少しでもこの人々の功績にあやかりたいものである。

表彰式は次々と進められ、総理大臣はじめ農林、通産等各省大臣の表彰に移り、場内はたえず拍手にこだました。関係県名呼出しの声高き中に茨城の声なく、一抹の寂しさを感じた。次期大会には大いに本県の意気を発揮せねばと心に誓つた。しかしながら、その後の全統連表彰には下館市役所の森田さんと、珠算競技全国コンクールで第1位になられた常陸太田市の橋本さんを万場の拍手をもつて壇上へおくるのが出来たのは全く歎息の至りであつた。

続いて行われた統計図表と懸賞論文審査結果報告もまた私にとつては特に興味深いものであつた。そして審査員がたんとして語る選評の中にも、今日の栄冠をかち得た人々の並々ならぬ苦心と努力の跡がしのばれた。

式は更に祝辞、祝電披露に移り、終つて兵庫県加古川市平岡小学校中田礼子さんの受賞者総代謝辞へと進んだ。中田さんは統計図表コンクール第1部に、加古川市の降雨日数を出品して最高位特選に入賞されたわずか小学5年生であるが、その謝辞は取材に苦心されたことから始まり、そして完成までの涙ぐましい努力の経過と、更に将来の覚悟まで述べられたものであり、内容といえ朗読ぶりといえ、誠に立派なものであつた。

午前の部は大会議事をしんがりにして一旦休憩、午後の再開まで図表の展示を見学したが、今更の如く世の中の広さに驚きながら、よくもこんな立派な作品がとただ

眼を見張るばかりであつた。

午後の研究発表で「三庄の交通と道路の改革について」と題する徳島県中学1年の本庄義明君と島田正子さん共同の研究発表には、内容もさることながらその落着いた説明ぶりに、場内のおとなたちもいささかどきもぬかれた感があつた。なお最後の東京都小売物価調査員横山貴美子さんの「私の小売物価調査の体験について」の体験談は、大学生のアルバイトと間違えられ店先ばらいを食わされた当初の苦心談から、彼女の誠意が指定店の主人に認められ、娘のよき相談相手とまでなつた現在までの、3ヶ年の血のにじむような苦心談であり、現地調査員の苦勞が思われて心から頭がさがつた。

研究発表に次いで大内兵衛先生の記念講演、万才三唱と大会は只日感激のうちに閉会された。

私は会場に心を残しながら帰途についたが、道すがらいろいろ考えさせられたことが多かつた。前の職場の水産課では10数年の在職中、水産デーには年々参加したが北は北海道から南は鹿児島まで、職を同じうする人々が一堂に会して今日のような大会を催されたこともなく、まして大内賞に匹敵するような栄ある水産の受賞者など選ばれたことを聞かない。統計マンは口を開けば縁の下の力持といわれるけれども、世の中にはもつともつと目立たない仕事をただ黙々と励み、一生を終る人たちが多いのではないかと。そして統計マンこそむしろ幸福ではあるまいかと考えた。

なお統計図表全国コンクールの選評は特に感銘したので、次回出品者の参考になればと思うので転記してきた。(筆者は調査企画課青木商工係長)

### 『選 評』

回を重ねること4回、今回始めて中学と高校を分けて4部にして審査した。何んといつても小学生の作品には心うたれるものがある。これらの方が社会に出る時は明るい気持がする。

統計協力学校制度普及のためか中学の進境が一番著しい。全体としてはさほど目立つほどの進歩を示したとはいえないが、このことは既に最高位水準に近づいているからともいえる。

審査の三基準である美観という点では素晴らしいの一語につきる。

構図については平明、ざん新、独創の点から見てそれぞれ立派なものもあるが、生徒の作品の中には特徴を示すことを忘れたものがあつた。私共の最も力を入れた資料の選択については無批判に資料をとつて図化したために見る人に誤つた理解を与えがちのものがあつた。円単位で示した累年統計の取扱については特に注意を要する。

そんな関係で第4部に特選のなかつたことは誠に遺憾である。

特選は相変わらず関西方面に偏しているが、入選府県は17の多きに及び年1年と統計が普及しつつあることは喜ばしいことである。



## (統) (計) (用) (語) (の) (解) (説)

〔耐用年数〕 建造物、機械設備その他の生産設備が古くなるととりかえなければならないが、それまでの年数を法律（減価償却規則）で定めている。これを耐用年数あるいは耐用命数という。

〔スウィッチ貿易〕 三角貿易の一種で、たとえば日本が受取分をもつ特定国を通じて第三国から必要とする物資を輸入する方法をいう。すなわち最近ポンドやドルの手持外貨が少なくなった場合に、わが国が受取分を

もつインドネシアやスウェーデン、ドイツなどの清算勘定諸国を通じてドル圏やポンド圏の物資を輸入するようになった。

〔強力人絹〕 タイヤ、コード向けのため、特に強く作られたビスコース人絹糸をいう。普通糸は 120デニールなのに対し2000デニール以上のものもある。わが国でも最近この増産を計っている由。

### 編 集 室

◎秋極雨のうつ陶しい天候も漸く晴れ上り、誠に天高く馬肥る時節となつた。最近、私たち日本人の生活も相当落付いたのか、日曜、休日ともなれば、ソレ山へ川へ、町へと行楽客や釣天狗が押しかて行く。一泊旅行の客も少くないが、終戦当時の惨めな生活を思うと実に大名旅行である。ささやかな積立金を利用して出かけるサラリーマン家庭の楽しみもまた一しおであらう。滅多に外に出られない奥さんや老人、子供へのサービスも、家庭円満の秘訣であることに間違いない。表紙の写真は秋の日ざしにはえる千波湖畔である。

◎10月15日には、第7回全国統計大会が東京日比谷公会堂において開催された。これは統計の祭典だけあつて全国から調査統計関係者 2,600名が参加し、各種の表彰をはじめ、統計図表審査結果報告、統計論文審査結果報告、珠算競技会入賞者表彰などが行われた由。

### 統計だより

- ★9月24、25日 関東甲信静ブロック臨時家計調査打合会議が長野県が開かれ、県から山中課長補佐、深沢主事が出席した。
- ★9月27日 関東甲信静ブロック毎月勤労統計調査事務打合会議が水戸市で開かれた。
- ★10月4、5日 関東信静ブロック小売物価調査事務打合会議が開かれ、本県から山中課長補佐、深沢主事が出席した。
- ★10月8日 三支庁統計係長会議を第五委員会室で開催
- ★10月15日 第7回全国統計大会が東京都日比谷公会堂で開催され、本県から160名余が参加した。

